

I. カリキュラムに関する満足度

単位:人

評価項目	評価基準				平均値	評価理由 (青字コメントは評価基準2および1の理由)
	4 多 いに そう 思う	3 そ う 思 う	2 や や そ う 思 う	1 全 く 思 わ な い		
1. 教育方針は明確に示されている。	1	9	1	0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> シラバスや便覧記載により明確。シラバスを通して時々確認することができた。 ハンセン病についてや実習などを通して人権について学ぶとともに看護実践も実習を通して学ぶことができた。 看護師になることだけでなく社会人としての知識を身につけることについても示されている。 入所者との関わりも多くハンセン病に対しても理解を深められた。 人権を尊重することや倫理を考えていくことが大切であると感じた。 教官も教育方針に従って教育は行っていると思うが、社会人として出てみてもいいのかと思わせる学生もいると思う。 教室には掲示されているが、あまり認識することができなかつたと感じる。
2. 基礎分野の教育内容に満足している。	4	7	0	0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすかった。良かったと思う。 分かりやすい授業が多かった。 看護に应用する教育学、心理学、英語など外部の講師の授業が分かりやすかった。 基礎的な分野について教官だけでなく外部講師を交えた授業の構成であるため理解しやすかった。 基礎を身につけておくことが大切だと授業を通して学んだ。 看護師になるため、たくさんの基礎根拠を学ぶことができた。 もう少し基礎分野を固めた内容であるといい。基礎アップトレーニングよりも解剖などの問題集の方が役に立つ。 教官が手本となって行ってくれることが多く見習おうと思える内容が多かった。 理解できるまで丁寧に分かりやすく教えてくださった。
3. 専門基礎分野の教育内容に満足している。	2	8	1	0	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に視覚も合わせて教えていただいた。 基礎的な分野について教官だけでなく外部講師を交えた授業の構成であるため理解しやすかった。 難しいところもあったが、分かるように一つ一つ説明してくれた。 准看とちがう専門的な知識、アセスメントなど深く学ぶことができた。 講義を通して理解できた。 分かりやすい授業が多かった。 良かったと思う。 理解できた。 最初に基礎分野の講義があったため次につなげることができた。 教科書を読むだけの時も多々あり、学生が興味を持てる内容が少ないように感じた。興味を示すことで知識を深めることができたと思う。
4. 専門分野の教育内容に満足している。	1	10	0	0	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすかった。分からないところまで理解できるまで丁寧に分かりやすく教えてくださった。 教科書を読むだけの時は少ないが、スライドを見るだけの時間が長かった。 実際に解剖見学をさせていただき貴重な体験ができた。 多重の中で多くの学びを得た。 個々の分野を評していただき、理解が深まった。 知識が増えたと思う。 更に詳しく勉強できた。
5. 実習の教育内容に満足している。	6	3	2	0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 記録、部屋持ち、実習指導と分かれて、それぞれ指導があり勉強になった。とても良かった。 看護師になるための的確な指導をいただいた。 指導も丁寧に自分と向き合ってくれた。 レベルの高い指導をいただいたことで、自分自身の幅が広がった。 医療センターでは高度医療を学べた。 専門性の高い看護を学ぶことができた。 小児だけ6時から16時なのに指導で時間が過ぎていたので実習の時間にしてほしかった。 少人数であるため実習中、教官や指導者から指導をいただきやすかった。 教育内容に満足しているが、実習時間ももう少し早く終わらせ国試対策しやすかった。 実習自体は良かったが実習先によって違いがあると思う。
6. わかりやすい授業が多い。	1	6	4	1	2.8	<ul style="list-style-type: none"> レジメやパワーポイントを使用した授業が多く分かりやすかった。 根拠も理解できるよう教えてくださった。 プリントもあり、復習しやすい。 どちらとも言えない、分かりやすい人のほうが多いと思う。 教官によりレベルが違っている、分かりやすいように統一してほしい。 医師、看護師によって分かりづらいつきがあった。 講義によりそうでない講義もあった。 教科書を読むだけの講義もあり、ポイントを伝えるためには良いが、正直頭に入りづらく、国試に役立てる事ができなかったと感じる。
7. 専門的な知識が身につく。	5	6	0	0	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 実習、課題、講義を通して身につけることができた。 具体的に根拠を考え教えていただいたので知識が身につくやすい。 準備のときより理解が深まった。準備の頃よりさらに上の知識を身につけることができたと感じる。 アセスメントを身につけることができた。 教官、外部講師、指導者さんが的確に指導してくださるため。 医師の講義が多く疾患理解がしやすい。 知識は様々と教えていただいた。 実習や授業により身につく。 専門の先生の講義を受けることができた。
8. 専門的な技術が身につく。	5	6	0	0	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 演習を通じ、身につけることができた。より臨床に近い技術の知識を得ることができたと思う。卒業前演習など最後まで技術を学ぶことができた。教官の指導をもらえる時間がたくさんあった。 技術を行う時間が増えたと感じた。 分からないことを聞くと、先生がデモしてくださり、丁寧に教えてくださった。 教官、外部講師、指導者さんが的確に指導してくださるため。 学生数が少なく、ひとりに対する指導時間があるので良い。
9. シラバスと実際の授業内容は概ね一致している。	1	8	2	0	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 時期など一致していた。変更はなかった。シラバスを中心に授業が進められていたと思う。楽しい授業が多かった。 最初にシラバスを確認して授業に入る先生もいて分かりやすかった。 テキストを購入しても使わない教官などがいたため、購入する必要はあったのかと思うことがあった。 時々、指示されたところを学生がまとめで、発表するような形の講義があり、それだとシラバスに沿った内容はできていないのではと思った。
10. 学習するための教材及び図書は十分である。	2	6	3	0	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつふえており、十分だと思う。ほしい教材があった。 今の教材や図書で困ることはなかった。医学書院の方が個人的に好ましい。 実習にも国試にも役立つ本があり、手に取りやすかった。 教科書で不十分なことがあっても図書室でおぎなえる。 十分だと思う。 ないこともあるが、たいしてある。 同じ本が2~3冊あったため。 小児技術の本は使用することがなかったため、必要ないと思う。 全く(講義で)使わない教材もあった。 時々、図書にない本もあって困ったことはあったが、大体の本はそろっていた。

評価項目	評価基準				平均値	評価理由 (青字コメントは評価基準2および1の理由)
	4 多 いに そう 思う	3 そ う 思 う	2 や や そ う 思 う	1 全 く 思 わ な い		
11. 個別指導、進路指導など学生をサポートする体制が整っている。(学生相談を含む)	7	3	1	0	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 悩みを相談する時間を遅くまで作ってくださった。 親身になって相談したらちゃんと聞いてくれる。 困ったときはいつでも聞いてくれた。面談もありしっかり聞いてもらえた。 サポートしていただいた。 先生から声をかけてくれる。 小人数であり、すぐに相談しにける環境であった。 担任、副担任に話しやすい体制が整っていた。 2年生になってからはカリキュラムが詰まっていたので相談しにくかった。
12. 健康管理体制に満足している。(春・秋季健康診断、健康指導)	7	4	0	0	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 健康管理体制は整っている。 マスク着用、手洗いの徹底、アルコール完備、寮においてドアノブの清掃など声かけがある。 特に困ることはなかった。 感染症が流行することなく予防などしっかりできていた。 健康診断が年2回あり、自分の健康変化が分かりよかった。 満足している。
13. 課外活動に満足している。学校行事(入学式、卒業式・特別講義・学生自治会活動・ボランティア活動)など	4	3	3	1	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアを通じて多くの人とふれあえた。 国試前に先生が来てくれよかった。 行事を通し、入所さんとかかわれて良かった。教官、下級生、クラスメイト、先輩とコミュニケーションをとることができた。 最高に満足している。楽しい時間を過ごすことができた。 積極的に参加した。 特にお金の管理を学生がするのは負担が大きい。通帳も学生が作らないといけないことなど、溝があった。 人数が少ないため学生に対する負担を考慮して、内容を考えてほしいかった。 いらぬ活動もあるのでは？出なくても何もいらない方がましと考える人もいる。 学生寮や自治会活動など、放課後残ってするのは負担だった。 人数が少なくなっているため、見合った活動にしていく必要があると思う。 自治活動が学習に支障ができるほど忙しい。
14. カリキュラムに対して評価する機会が与えられている。(授業評価、実習評価)	5	5	1	0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 終了試験の後に講義の評価を行い、よかった。 名前を書かなくて良いので正直に書けた。 テスト毎や実習(中間・最終)中に評価ができ、私自身の見直しにもつながった。 自分の意思を伝えることができる。 こんなに毎回書かなくてよいと思う。 評価に対しても理解いく(できるの意味?)評価だった。 授業に対する評価はあったが、実習に対する評価はなかった。
15. 学校職員は、学生の関心事に耳を傾け、近づきやすい存在である。	6	3	2	0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> いつも親身になり聞いてくださり話しやすかった。 何かあれば相談ののってくれる。 1年たって近づきやすくなった。 教官からはよく声をかけてくださる。 先生たちは優しく、時にはしっかり厳しいときもあって関わりやすく大スキです。 どの学校職員も話しかけやすかった。 声をかけやすい。 教員によっては異なる。 人によると思う。
16. 全体的にみて、本校で学んだ事に満足している。	9	2	0	0	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ハンセン病や人権、倫理についてなど、他の学校では深く学べないことがあり、満足している。 ハンセン病だけでなく、看護技術や知識など深いところまで身につけられたと思う。 2年間という短い期間であったのに関わらず充実感がある。 解剖や校外活動などハードではあったが振り返り、この学校に来て良かったと感じる。 他校にも引けをとりず自信となった。 カリキュラムは多いがその分、知識や技術は学べたため良かったと思う。 技術や授業を通して学べた。 2年間、いっぱい思い出ができた。 満足している。

Ⅱ. 国家試験対策に対するアンケート 単位:人

評価項目	評価基準				平均値	評価理由 (青字コメントは評価基準2および1の理由)	
	4 多 い に そ う 思 う	3 そ う 思 う	2 や や そ う 思 う	1 全 く 思 わ な い			
17. 国家試験対策について	1) 模擬試験の時期・回数・内容に満足している。	3	5	3	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 多く感じたが、今思ったらやってよかったと思える。 いいと思う。 ちょうどよい回数だと思う。 勉強の成果が分かり、勉強の仕方を考えるのに役立った。 苦手分野の講義がありよかった。 国試直前が一番不安があるため直前に模擬試験がよかった。 もう少し回数を増やして自分の実力を知ることができた。 必修の模試も途中でよかった。
	2) 外部講師の特別講義に満足している。	7	3	1	0	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 分からないところをピックアップしてくれて分かりやすかった。 東アカの講師による講義をもっと増やしてほしいと思う。 苦手分野を分かりやすく教えていただき実際の国試に役立った。 特別講義が(国試?)問題に出た。 分かりやすかった。分からないことが分かった。 わからないこともすぐ解決でき、覚え方も教えていただいたのが国試に役立った。 特別講演に乳がんが必要かな?と思った。
	3) 園内講師の特別講義に満足している。	9	2	0	0	3.8	<ul style="list-style-type: none"> 乳がんの講義は国試直前じゃなくても良いのではないかと感じた。 分かりやすい説明だった。 知識をより深めることができた。 苦手分野(ホルモンなど)がピックアップされておりよかった。 一問一答を解説しながら丁寧に教えてくださった。 医師、看護師、それぞれの専門分野を分かりやすく教えていただいた。 頻出問題を過去問だけでなく応用まで教えていただけたためよかった。
	4) 1月・2月の学内学習の学習内容に満足している。(プリントなどの学習教材を含む)	7	3	1	0	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 教官が準備してくれた各分野の過去問、必修が役立った。分野別で問題を解くことで自分の分かっていないところ(苦手分野を振り返る)を把握することができて対策することができた。 回数をこなして振り返ることができた。 強制でなく自分たちのペースに合わせたプリントなどであったためよかった。 過去模試より分野別のプリントは知識が深まり振り返りやすかった。
	5) 国家試験対策についての要望やご意見がありましたら、是非お聞かせください。						<ul style="list-style-type: none"> 国試、模試の振り返りを行い、時間をあけて再度、同じ問題を解く 役分野ごとに過去問を勉強した方が理解を深めることができた。 過去問や過去の模試を繰り返し行うことはよいと思う。 教室でやると、話し出す人もいるため、自分の部屋で静かに勉強の方が集中できた。 分野の模試があり、苦手が分かった。 よかった。 もう少し早めから国試対策をはじめておく。

II. 卒業前演習に対するアンケート

単位:人

評価項目	評価基準				平均値	評価理由 (青字コメントは評価基準2および1の理由)	
	4 多 い に そ う 思 う	3 そ う 思 う	2 や や そ う 思 う	1 全 く 思 わ な い			
18. 卒業前看護技術演習について	1) 演習項目に満足している。 (経管栄養法、臥床患者のリネン交換、膀胱留置カテーテル、グリセリン洗腸)	5	5	0	0	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床で頻回に行われる技術ばかりで清潔操作、安全安楽、羞恥心への配慮をしなければならない技術だったため勉強になった。 ・点滴、静注など再度行いたかった。 ・実習では見学できても経験できない項目だったため、技術を身につけることができた。 ・臨床に出る前にできてよかった。突然行うよりやっていたほうがよいと思った。 ・よかったと思う。
	2) 演習に必要な物品は揃っていた。	9	0	1	0	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・特に不足なく、実習先の物品と変わらなかった。 ・繰り返し使うことがあったが必要な物品は揃っていた。 ・困ることなく実施できた。 ・実際のものを使ってよかった。(人形や物品も揃っていた) ・不備なくできた。 ・揃っていたが古かった。
	3) デモンストレーションは効果的だった。	8	2	0	0	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に見ることで動きやすい。 ・とても参考になった。 ・分かりやすかった。 ・事前学習や声かけの内容など自分で見つけられていないことを十分できた。 ・デモストのおかげで分かりやすく演習を進めることができた。 ・自分の事前学習と照らしあわせながらであったためイメージしやすかった。 ・分かりやすかった。 ・デモンストレーションもこれが正しいのではなく、全員で考えながら後の演習に活かせることがよかった。
	4) 練習時間は十分だった。	3	5	2	0	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・いいくらいだった。ちょうどよかった。 ・グループですること指摘や考えながらおこなえた。 ・多いくらいだったけど、今思ったらそれくらい大切と思った。 ・もう少し苦手なことをしたいと思った。 ・授業時間だけでも十分に理解し実施できたのでよかった。 ・授業時間で教官がいるなかでの練習であったので分からないところは質問できたり、確認してもらえたためよかった。 ・練習時間の確保が難しかった。
	5) 事前学習は活用できた。	4	3	2	1	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を知った上ででき、かつ復習できる。 ・事前に学習しておくことで実施もスムーズに行えるところもあった。分からないところを付け足すなど活用できた。 ・授業時間だけでも十分に理解し実施できたのでよかったと思う。 ・文献によって手技の違いがあったりしたので活用する文献を統一したほうがよかったのでは、と思う。 ・根拠の本があるため、せつかく買っているから本を使用したい。 ・根拠などで活用できた。
	6) 卒業前演習についての要望やご意見がありましたら、是非お聞かせ下さい。						<ul style="list-style-type: none"> ・どの項目も臨床で頻回に行われる手技だと思うのでよかった。 ・導尿、洗腸は行ってよかった。 ・国試後、事前学習の提示、提出の期限が短すぎて正直つらかった。 ・休まらないまま演習を行うことはハードであった。 ・時間は限られているが忙しすぎた。 ・採血をもう少しやりたい。 ・日程が詰め詰めだったため改善した方がよさそう。

Ⅲ. 学生相談に対するアンケート (学生数11名)

数) アンケート項目	学生の意見 (○内の数字は、 評価理由が ない人		理 由 (青字コメントはいいえの理由)
	はい	いいえ	
1)専任のカウンセラーによる カウンセリング日時を 知っていた。	7 (64%)	4 (36%)	
2)専任のカウンセラーによる 学生相談を活用していた。	2 (18%)	9 (82%)	<ul style="list-style-type: none"> 相談できて良かった。 自分にあうカウンセラーを持つことが必要だと思った。 自己解決できていた。 相談する相手がいた。不満や悩みは友人に話すことで解決できていた。 相談する悩みがなかった。
3)専任のカウンセラーによる 学生相談を活用する必要性 があった。	2 (18%)	9 (82%)	<ul style="list-style-type: none"> たまに否定されるように感じる時があった。 話を聞いてもらえるだけでも活用してよいと思う。 特に悩みがなかった。 相談したいと思う人は相談したらよいと思う。
4)教官にいつでも相談できた。 (進路相談・学習相談・精神面 での相談)	9 (82%)	2 (18%)	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞いてもらえた。 話しやすいため相談できた。 普段話す中で話していた。 一度悩んだことがあり先生に相談できてよかった。 悩みを聞いてくれた。 話しやすく何でも話せた。 相談できる環境だった。 いつでもはできなかった。発することができない自分の問題です。 面談以外で教官とゆっくり話す時間は取れなかった。
5)教官との学生相談では、 プライバシーが守られてい た。	11 (100%)	0	<ul style="list-style-type: none"> 部屋を別室にするなど守られていたと思う。 自分と先生だけの空間だった。 特になし。 困ることはなかった。 教官同士の連絡はあったが、それが外部にもれることはなかった。

19. 学生相談について